

新しい防犯アイテムで 電話による被害を防ごう!

たなべ雄一が市に提案した「新しい防犯アイテム」とは、高齢者の消費者トラブル被害の販売購入形態の内訳では電話勧誘販売が全体の3割を占めていることから、国民生活センターが防止策として利用することを推奨している通話録音装置などのことをいい、他都市では試験導入が進んでいます。

市は「(他都市の)こうしたパイロット事業には一定の効果があると同時に導入に係る新たな費用負担が生じるなど幾つか課題もあるが、今後は装置の利点や課題も踏まえて、積極的な普及啓発に努める」また「高齢者の電話勧誘被害防止策を検討するため、他都市の実施状況を踏まえて市としても自動録音や着信拒否の機能を有する装置をモニターの方に使用していただくなど、独自の検証を行う」としています。



新しい防犯アイテムの一例 (いずれも電話機につなぐタイプ)

		
通話録音装置その①	通話録音装置その②	迷惑電話チェッカー
電話がかかってきた時にまず相手先にアナウンスをしてから呼び出し音が鳴るタイプ。 ●レッツコーポレーション製 調査価格 12,800円(税別)	電話がかかってきた時に呼び出し音のあとアナウンスが流れるタイプ。 ●東芝製 調査価格 6,647円(税別)	全国規模の管理サーバーに登録・共有されている迷惑電話番号のリストをもとにかかった電話の危険度を音声と色(青・黄・赤)で通知する。 ●ワイモバイル

たなべ雄一 連絡先

〒464-0073
名古屋市千種区高見一丁目 14-1
電話：052-763-3797
FAX：052-763-3828

たなべ雄一 公式サイト!

市政情報
満載! たなべ雄一 検索
<http://www.komei.or.jp/km/nagoya-tanabe-yuichi/>

ひとことメッセージ

今回の「まっすぐ通信」は私がお届けしました。
⇒ たなべ雄一(本人) ☐ 協力者()



新しい年もよろしくお願いします。



不育症、85%は出産可能。名古屋市立大学病院に不育症電話相談窓口。

豆柴ダイヤル(052)851-4874

相談可能曜日・時間
●火曜日：正午～15時
●金曜日：8時30分～11時30分
※祝日および年末年始(12/29～1/3)は除きます。
相談従事者：不育症の専門知識を有する
カウンセラー(臨床心理士、助産師)



くらしにまっすぐ! 未来にまっすぐ! 市政の情報・調査結果をお届けします!
千種区選出名古屋市会議員・公明党名古屋市長議員団

たなべ雄一 ゆういち
まっすぐ通信



発行日
2015年2月1日

消費者トラブル・なりすまし詐欺から 高齢者を守るろう!

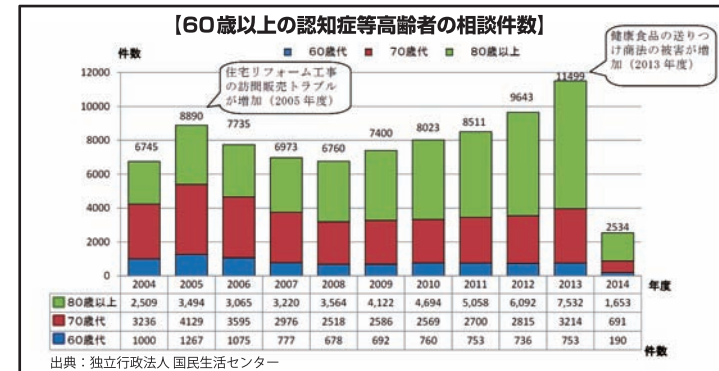


高齢者の消費者トラブルが過去最悪に

9月定例会の本会議で「高齢者を守る施策について」質問しました。平成25年度の正常な判断が難しいとされる60歳以上の認知症等高齢者の消費者トラブルの相談件数が過去最多の1万1,449件(独立行政法人国民生活センターの公表)だったことを踏まえ、高齢者を悪質商法などの消費者トラブルや、なりすまし詐欺(特殊詐欺)から守るための施策について市の姿勢を聞くとともに、被害を防ぐための方法を提案しました。

「新しい防犯アイテム」の積極的活用を提案

質問では消費者被害の約3割を占める電話での勧誘等から守るために「新しい防犯アイテム」と呼ばれる電話機に装着して利用する、不審電話を着信拒否または通話を自動録音する機器を市民にお知らせすることを提案。すでに近隣都市では警察と連携して試験導入が進んでいて一定の効果と課題が分かりつつある事例も紹介。名古屋市でも導入を検討するために独自のモニター制度を始めることを提案しました。市からは前向きに検討すると答弁があり、来年度にも事業化が期待されます。(4面に解説記事)



増加する身寄りのない認知症高齢者の 成年後見に備えよ

他にも今後、身寄りのない認知症高齢者の増加が見込まれることから、親族に代わって市長が裁判所に申し立てて成年後見を求める「市長申立」の体制強化を要望しました。

振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の被害状況(警察庁のHPより)

平成26年上半年期の特殊詐欺全体の認知件数は前年同期に比べて約1割増加し、被害総額は約3割増加しました。被害総額は、振り込め詐欺約161億円(警察官等をかたってキャッシュカードを直接受け取る等の手口で、事後ATMから引き出された金額を加えた実質的な被害総額)と振り込め詐欺以外の特殊詐欺約108億円を合わせて約268億円となっています。

市民の皆様へ

この議員広報は名古屋市議会基本条例に定められた事項のうち、議員自らの議会活動を市民に分かりやすく説明することを目的としたものです(名古屋市議会基本条例第3条の②)。配布については何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

がんばろう日本! 復興4年目。被災地 東北を忘れない。

1 地域の安全に まっすぐ! たなべ!

空家対策条例を制定

放置されたままだった空き家。放火や倒壊など、不安を除き危険を防ぐため「空家対策条例」を制定しました。(議員条例)

南海トラフ巨大地震に備えて!

- 小中学校に防災ヘルメットを配備!(田代小、高見小に配備)
- 全市立学校を耐震化!(100%)
- 防災意識を高めるため、市の行事で避難経路の案内などをするを提案。市内全域で実施されています。



古紙持ち取り防止条例を制定!(議員条例)

- 「集団回収の古紙が勝手に持ち去られてます!」との市民相談。
- 現場に急行! すぐ調査。超党派で勉強会も。
- 本会議で提案し可決。条例が制定!
- 年間約2千トン(1200万円相当)の被害があったが、今では大幅に減少!



本会議場で条例案の提案説明と質疑をするたなべ雄一

? 議員条例とは?

条例とは、いわば「市の法律」です。中でも議員から提案される条例を「議員条例」といいます。

2 いのちを守る まっすぐ! たなべ!

駅での転落防止!

地下鉄ホームからの転落を防ぐため、桜通線全駅に可動式ホーム柵を設置! さらに、東山線全駅設置が決定(H27年度)

孤立死させない!

高齢者の孤立死を防ぐため、市営住宅の単身高齢者の連絡先を調査。5年ごとの実施と50代の単身世帯や老々世帯の調査も!

STOP! 児童虐待!

虐待を受けた子どもと家族が、再び家族として生活していけるように、教育もちゃんと受けられるように支援するための「児童虐待防止条例」を制定!(議員条例)



議員有志の会主催による市民フォーラム「児童虐待を考える会」を開催。「夜回り先生」こと水谷修氏が基調講演。

3 小さな声に まっすぐ! たなべ!

困っている難聴児やご家族を支えるために!

保護者が大きな負担をしていたFM補聴システムを、公費で市立小中学校に配備できることになりました。

自己負担だった軽度・中等度難聴児の補聴器。購入費の3分の2を助成する制度を創設しました。



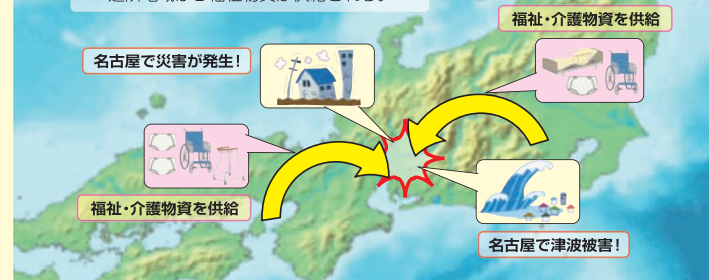
FM補聴システムとは

- 話し手の音声でFM電波で直接受信機に送るのでハッキリと聞こえる。

災害時の介護・福祉物資を支援する制度をつくりました!

災害時の福祉・介護物資供給イメージ

☆災害発生時に名古屋市の要請に応じて近隣地域から福祉物資が供給される。



災害時に避難所などで、高齢者の健康や生命を守るため、民間業者がベッドや車イスなどの介護・福祉物資を支援する制度をつくりました!

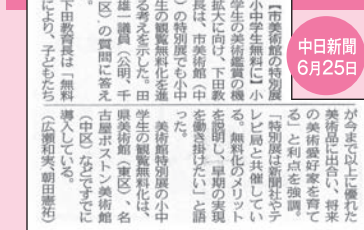
4 こどもの未来に まっすぐ! たなべ!

- 中学卒業までの通院医療費が無料になりました!

- 保育料10%の値上げを阻止しました!



- 市立美術館特別展の小中学生の観覧料を無料化!



まっすぐビジョン

南海トラフ巨大地震などの大規模地震対策

- 消防団の支援など地域防災力の強化
- 帰宅困難者対策の充実

地域防犯力アップ! トータルプラン

- 防犯カメラを増やし、地域の防犯力をUP!
- 地域防犯パトロールを支援します!

振り込め詐欺から高齢者を守るため、「新しい防犯アイテム」(電話機に装着して、通話録音や着信拒否する機器)の導入を推進します!

よりよき教育環境を子どもたちに! 老朽化した市立小中学校の建て替えを推進します!

転落をふせぐ「地下鉄 ホーム柵」をさらに増やします!

- 東山線全駅...H27 年度(決定)
- 名城線全駅...H32 年度(予定)

在宅で介護する家族を支援します! 相談できる体制もつくりまします!(男性介護者への研修など)

子育て世代を応援します!

- 幼児教育の無償化
- 待機児童対策
- 子育てバウチャー制度の導入

(子育てサービスなどに使い道が限定された補助金やチケットを支給して子育てを支援します)



識者からの応援メッセージ



花園大学 関西大学 客員教授
(夜回り先生)
水谷 修 氏

たなべさんは私の大切な仲間

今、私たちの国日本の子どもたちが苦しんでいます。子どもたちが追い詰められている今、名古屋で、たなべ雄一さんを中心とする議員有志が、児童虐待防止条例を議員提案から制定したことは、名古屋のこどもたち、特に虐待を受けている子どもたちにとって、かけがいのない救いとなります。

たなべ雄一さんは私の大切な仲間、日頃から名古屋の子どもたちを守るために、公明党全国三千人の仲間たちと汗を惜しむことなく活動が続けてきてくれました。子どもたちに代わり深く感謝いたします。



NPO 法人 全国不登校新聞社
編集長
石井 志昂 氏

痛みに共感できる政治を

不登校新聞は日本で唯一の不登校・ひきこもり専門紙です。田辺さんが市議会に問いかけについて質問をされました。その質問内容の骨格には、子どもが受けてきた痛みに対する共感がありました。いじめ、不登校、ひきこもりの当事者になった子どもは、傷を負った自分を責め、まわりも責め、そして「自分なんかいないほうがいい」と思ってしまうところに問題の根源があるということです。そんなことはない、この世の中は生きるに値する世の中だ、と発信すること。この一点を、政治のなかの落としどころを見つけて仕事をしていただいたと感謝しています。



名古屋 難聴児を持つ親の会
会長
堀田 明美 氏

小さな声を受けとってもらえた

私たち名古屋難聴児を持つ親の会は、30年ほど前に名古屋市内に難聴学級を設立することを目的に立ち上げられました。現在は、難聴児とその親たちの幸せを願い活動をしています。この度、軽度・中等度難聴児のための補聴器購入費の助成に向け、田辺議員のお力添えをいただき実現しました。(※2013年に実現)

対象の親御さんからは「金銭的負担が少なくなったことは、不安の多い難聴児の子育ての負担を減らすことになりました」と喜びの声をいただいています。私たち障害児を持つ親のこんな小さな声もちゃんと受け取ってもらえたこと、とても感謝しています。